

会場⑥—1 屋久島町立八幡小学校3・4年生

- 自分たちの住む地域を代表する海の環境問題を取り上げ、その改善に取り組むことは自分たちにとってもメリットがあると考えることが出来、そのためにどうすればよいかを考え行動できているのがとても素晴らしいと思いました。
- 発表ありがとうございました。海のレンジャー体験では、海でのごみ問題から考えた課題から、ごみ拾いキャンペーンなど自分たちが実施できる活動をポスターなどで呼びかけているのは全員が海を守ろうとしていくためには重要だと思いました。他にも色々な活動にも参加してみたいと思いました。
- 地元の自然環境に密着した現実的な問題を扱っていたことで、子どもたちも積極的に取り組みたいと思えるような実践になっていて、参考にしたいと感じました。子どもたちがまっすぐな瞳で私たちに対してお願いしていた姿からも、子どもたちがその問題に本気で取り組み、深刻さを実感したことが伺えました。
- 屋久島という自然に囲まれているという環境を上手く利用した活動だと思いました。自然の豊かさがあるからこそ、海の汚れなどの負の部分が強調して見えてくるのではないかと思います。その解決のために試行錯誤できていて良かったと思います。
- 地域の特色として屋久島があり、その視点から環境問題解決するためにグループに分かれて活動しており、それぞれのグループで各々の特色ある発表が展開されていた。ポスターなどを用いた発表は視覚的に捉えやすく、伝えたいことが明確に分かる内容だった。
- 自分たちの暮らす地域の自然を守るために何ができるのかを一人一人が真剣に考えていて感動しました。どの活動にもきちんと背景があって、明確な目的意識を持って取り組まれていることもとても素晴らしかったです。自分たちで考えて、実際に行動に移していくことは簡単そうで実は難しいのではないかと思います。その実践を行っている八幡小学校3・4年生のみなさんの姿勢は私も見習わなければならないと感じました。みなさんのお願いに微力ではありますが協力していきたいです。これからも頑張ってください、応援しています。
- 私は生まれてから長野県にずっと住んでいるので、海岸に届くごみや海の環境について、長野県では考えることの無い分野で、興味深かったです。ごみ拾いキャンペーンでLINEを利用するという発想が素晴らしいと思いました。元気ある発表で、ごみについて考えを深め、ポイ捨て等気を付けようと思いました。
- レンジャー体験から普段の生活では感じられない屋久島の課題を考えられた様子が伝わってきました。長野県は海がないので海のごみについてはあまり実感がわかりませんが、海岸であんなにも大きなごみが流れていて、また海外からも多くのゴミが流れているとは思わず驚きました。また山のごみも海に影響があるとのことでしたがこれは長野県にいる私達でも協力できることだなと思ったので気を付けていきたいなと多かったです。またジビエについては長野県でも積極的に料理に使われていると思います。自分たちがいる場所でできることを大切に、自然を守っていきたいなとみなさんの発表を見て感じました。発表ありがとうございました。

- 自分たちが住む屋久島を守るという目的のための活動は子ども達にとっても取り組みやすく、屋久島が抱えている問題について、自分たちができる簡単なことから取り組むというところが大切なことだと感じました。子ども達にとって簡単に取り組むことができることは、大人もできるはずなので、子ども達から変えていくということはとても効果的であると感じました。
- 鹿による獣害というのは長野県でも実例があります。そして獣害を減らそうと取り組みを行う方々もいます。しかし、八幡小学校のように小学生が取り組みに参加して、地域に貢献しようとする姿は屋久島町特有のもので素晴らしいと思いました。
- 海洋ゴミの削減に目をつけているのが素晴らしいと思いました。海洋は地球上の7割を占めているので海洋ゴミが増えると生命の源とも言える海が汚れてしまうことになり多大な影響を及ぼします。今は私内陸圏に住んでいますが、当事者意識を持ってゴミの削減に取り組みたいと思いました。
- レンジャー体験を通して、子どもたちが海と山がつながっていることに気付いていることがすごいと感じました。海と山が身近にある屋久島だからこそできる活動なのだろうと思います。今回の発表のように屋久島や海や山を守るため何をすればよいか発信することの活動を頑張ってください。
- 屋久島にある様々な環境問題に対し、それぞれの問題を解決するために自分たちはどんな取り組みができるか考えることができましたね。QRコードを利用したゴミ拾いキャンペーンのアイデア。誰もがスマートフォンやタブレット端末を持っている時代にぴったりのアイデアだと思いました。発想が素晴らしいです。素敵な発表ありがとうございました。
- 屋久島が抱えている問題から、自分たちにもできる簡単なことから取り組もうという考えを持ち、課題解決のために自分たちにできることは何なのか考えて活動することが出来ていて良いと思いました。また、そこで終わりではなく、どのような効果が期待されるのかまで考えられていて素晴らしいと思う。屋久島で生活しているからこそわかることをこれからもっと発信してほしいと思います。
- 海も山も自分で遊んでそこから問題を見つけ、自分たちにできることを考えているのが良いと思いました。ポスターや新聞、手紙を大人に作ってもらうのではなく、自分たちで作っていたところから、海や山を守りたいんだな、住んでいる町が大好きなんだなと思っているように感じました。シカ肉を給食などで出せば、命の大切さも伝わるのではないのでしょうか。自然を守っていくためには、まずは今の状態を知ることが大事なことだと分かりました。心温まる発表をありがとうございました。
- 屋久島が抱える問題をしり、「自分たちができること」ということを中心に取り組みを考えていたことは、この研究成果を見た人たちが実践しやすいものであるから、行動に移しやすいと思うのでいいと思いました。ごみ拾いキャンペーンなどの計画も細かくされており実現性のあるもので期待される効果もはっきりしていたので見た人たちに協力してもらえるとと思いました。
どのチームの発表も資料がたくさん示されていて見ている人に伝わりやすい発表だと思います。各チームの最後に「みなさんへのおねがい」という部分があり、一番伝えたいことは何か分かりやすかったのでいい発表だったと思います。

- とてもハキハキした発表で聞き取りやすく、誠意が伝わってきました。私が住んでいる場所からとても遠い場所にある屋久島の問題を知り、その原因を学ぶことができました。その地域に住んでいる児童の皆さんだからこそ伝えられることがあると思います。地域を大切にしたいという思いが伝わってきました。「～したいと思います。」ではなく「～します。」という決意の言葉が多くあり、私もその言葉に感化されました。屋久島から離れたところに住んでいる私たちでもできることは多くあることに気づかされました。私ができることから取り組んでいきます。
- まずは、屋久島の自然を守るために私たち自身がまず行動できることがあると教えてくれてありがとうございました。私は屋久島に入ったことがないので知らなかったのですが、屋久島の文化を守ろうという皆さんの固い意志が感じられたことが良かったです僕も普段からごみの分別等心がけていきたいなと感じました！
- 海でのごみの取り組みに対して、私たちは海がない所に住んでいるため海の問題に対する実感などあまり湧かないと思うが、しっかり自分たちにでもできる取り組みをされていてすごいと思いました。自分たちからできる小さな取り組みもなかなか継続できることではないので素晴らしいなと思いました。これからも継続できるように頑張ってください。
- 屋久島の自然・海を守るために、何をしたらいいかを考えて実行していることが素晴らしいと思います！自分たちでゴミを拾ったり、ポスターを作ったり、新聞を作ったり、給食センターに手紙を書いたり、実際に具体的な活動をしていることがとても大切だなと感じました！これからも屋久島という恵まれた環境を守るために、自ら考えて行動するという気持ちを忘れずにがんばってください！私もゴミを拾うなど、自分のできることをしたいと思います！応援しています！
- グループに分かれて解決したい問題、そのためにする行動、ほかの人への協力のお願いが分かりやすくまとめられていると思いました。自然が豊かな屋久島でも海洋問題や害獣問題を抱えていることを初めて知り、私自身が直接屋久島の環境に何かすることはできませんが、私が簡単なことからできることをやっていきたいと思いました。
- 鹿肉を食べることでヤクシカを減らすという案について、とても良い案だと思いました。豚肉や牛肉と違い、ほとんどの人は鹿肉を食べる習慣がないので、鹿肉のおいしさが給食を通じて伝わることで、この習慣が広がっていくのではないかと思います。
- 自分たちで発見した地域の課題について、ごみ拾いを行ったりポスターを作成したりと、解決に向けて実際に行動を起こしているのが素晴らしいと思いました。こういった、みなさんの行動一つ一つが積み重なれば、やがて大きな問題を解決できると思うので、これからも、地域のために自分たちができることをしたいという気持ちを持ち続けて生活してくれたらいいなと思うし、私自身もその姿勢を見習いたいと思いました。
- 発表ありがとうございました。山や川へ観察に行く活動をしたからこそ、それぞれの子どもにとって身近な課題が見つかったのだと思いました。ヤクシカの給食の問題は、ヤクシカと人間の共生という大きなテーマにもつながるのではないのでしょうか。今後子どもたちのヤクシカへの捉えがどのように更新されていくのか楽しみになりました。また、小グループに分かれてのプロジェクトは、それぞれのプロジェクトでの相互作用もありそうだと感じました。発表ありがとうございました。

- 身近な課題であるゴミ問題を、ICT を使いながら活動して皆さんの海を守ろうとする姿がたくましく感じられました。
- QR コードを使ったゴミ拾いの活動、アイデアがとても面白かったです。
- 「自分のできる小さなことから始めてほしい」という思いが心にとまりました。屋久島、さらには世界はわたしの生きるところ。私たちの地球であるということを考えさせられて、それは決してこれからも生きる地球、くらす屋久島だったり長野を思いやり、そこに生きる「わたし」にできることからやることはみんな共通していると学ばせていただきました。